

令和 6 年度学校評価報告書

令和 7 年 3 月 17 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌月寒高等学校長 三 村 素 道

次のとおり令和 6 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|--|
| (1) 社会を牽引する存在となるために必要な高い資質・能力と豊かな心を持つ生徒の育成 |
| (2) 向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・効果的な観点別評価の実施が求められる。 ・授業評価のさらなる充実を図る必要がある。	・生徒に身に付けさせるべき資質・能力の育成に向けて、授業改善が必要である。
改善方策	・観点別評価の効果的な実施に向けて、教職員が理解を深めるために校内研修を充実させ、授業改善を進めるために授業評価を組織として実施する。	
生活指導	・基本的生活習慣を身に付けさせることはできた。 ・生徒部を中心とした生徒指導の体制に課題があった。	中学校では部活動の地域移行が進められているが、高校ではどうなのか。学校の手を離すことが難しければ、外部指導者の導入等を考えてはどうか。
改善方策	・生徒部の位置付けを明確にし、各学年との連携を強化するとともに、積極的な生徒指導を進める。 ・部活動指導においては、3名の部活動指導員を導入しており、今後も充実させていく。 ・部活動の在り方を見直し、学習との両立を図るとともに、部活動時間の徹底を図る。	
進路指導	・総合的な探究の時間において、外部との積極的な連携により、従来と比較して飛躍的に充実した指導内容となった。 ・生徒の進路希望実現のための指導をきめ細かく行った。	総合的な探究の時間については、今後も月寒高校ならではの先進的な内容を指導してもらいたい
改善方策	・従来の進学指導から、探究と結びつけた生徒のキャリア教育への転換を図り、総合型選抜入試の活用など、現在学校に求められる進路指導の在り方を研究するとともに、社会的要請に十分応えられる指導を進める。	
保健安全指導	・支援委員会による生徒状況の把握や情報共有等を進めた。 ・スクールカウンセラーとの連携により、教育相談活動を充実させた。	多様化する生徒に対応できるよう、支援体制の一層の強化をお願いしたい。
改善方策	支援委員会をより効果的に機能させるため、今年度から毎月の定例開催とし、支援を必要とする生徒に早期対応することができた。次年度も同様に実施する。	
運営	・学校祭やその他行事において、PTA等関係機関と連携し、教育活動の充実につなげることができた。	・地域行事に参加したり地域の商店街にインターンシップを行ったりするなど、より地域と連携してもらいたい。

	・地域に開かれた学校に向けて、学校説明会を実施した。	
改善方策	・生徒会を活用するなど、より積極的に地域に開かれた学校を目指す。	
他	・超過勤務時間は減少傾向ではあるが、業務が多方面にわたっており、依然として多忙感はある。	・業務の軽減・平準化に取り組み、働き方改革を推進してもらいたい。
改善方策	・超過勤務時間は昨年度より減少傾向であるものの、より一層の削減が望まれる。日常業務の効率化に向けて DX をより一層進め、超過勤務の削減等につなげていくとともに、各学年・分掌等における業務の精選を行う。 ・部活動指導員を引き続き導入し、超過勤務時間の削減を図る。 ・定期退勤日を設定し、効率的に業務を進めるよう促す。	
公表方法	学校ホームページ 学校評議員会	

3 添付資料

令和7年度学校関係者評価票（職員自己評価の内容を含む）